



法政大学 グローバル教育センター事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL: 03-3264-4088 E-mail: globaledu@hosei.ac.jp
<http://www.global.hosei.ac.jp/>

2018年3月発行



Go Global Hosei 2018



課題解決先進国日本から サステナブル社会を構想する グローバル大学をめざして！

2018年度は、本学が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されて、5年目を迎えます。
2023年度が最終年度にあたりますので、同事業のちょうど「折り返し」地点に達したことになります。
事業構想どおりに実行するには解決すべき課題はありますが、本学の「グローバル化」は着実に進捗しています。
引き続き“法政大学ならではの”取り組みを一步一步進めていきます。



スーパーグローバル大学創成支援

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するためのシステムの改革や、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援する文部科学省の事業。全国の国公私立大学から、本学を含め37校が採択されています。

Hosei University Charter

Practical Wisdom for Freedom

Hosei University was founded by a group of ambitious young men at the beginning of the modern era in Japan for ordinary citizens who had become aware of human rights and sought a knowledge of the law.

As the school song says, Hosei University is a place where “good teachers and good friends gather.” The university has always fostered a “free academic atmosphere” in which the rights of others are respected and diversity is accepted and a “pioneering spirit” which is not bound by convention and aims at building a fair society.

Carrying on the legacy of the university’s founders, our mission is to pass on this free academic atmosphere and pioneering spirit to the next generation and contribute to solving the problems of the world.

In order to fulfill this mission, the university strives to support farsighted research from a variety of points of view and educate students to become independent citizens who carry out their work for the society and the people based on well-grounded principles and unrestricted thinking.

Hosei University promotes sound critical thinking based on sympathy for all people, both locally and internationally, and the creation of ideas for solving social problems based on practical wisdom. In cooperation with its many graduates, who have the ability to live anywhere in the world, Hosei University will contribute to the future of sustainable societies.

「法政大学憲章」(英語版)

自由を生き抜く実践知

法政大学は、2030年に創立150周年を迎えます。2013年、私が総長に立候補するにあたって、創立150年という大きな節目をめざす“HOSEI 2030”を構想し、賛同を得ました。2014年の就任後すぐにタスクフォースを設置し、検討を重ね、2030年の本学の姿を展望したプロジェクト“HOSEI 2030”を策定いたしました。またその過程で、「ダイバーシティ宣言」を行い、「法政大学憲章」を制定しました。「法政大学憲章」は「自由を生き抜く実践知」をその約束として掲げています。それぞれが生きる現実の中で、自由を生き抜くことを理想とし、それを実現するために課題解決を続ける知性のことです。“HOSEI 2030”の根幹をなすとともに、本学のスーパーグローバル大学構想にも繋がる重要な理念です。今後も、これらの憲章、ミッション、ビジョン、そして宣言に基づき、スーパーグローバル大学構想を含む“HOSEI 2030”を実行していきます。法政大学の新しい展開に注目し続けてください。

法政大学 総長
田中 優子



INDEX

巻頭.....	01~02
法政大学のグローバル化へのビジョン	03~04
グローバル人材育成のイメージ	05~06
語学教育プログラム	07~08
外国人留学生の受入れ.....	09~10
国際交流プログラム	11~12
派遣・認定海外留学制度	13~14
特徴的な海外留学・インターンシッププログラム	15~16
海外交流協定大学.....	17~18
グローバル化に対応した仕組みづくり	19~20
グローバル化の歩み	21~22

法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成をめざして、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

●総長のリーダーシップ ●長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定 ●ICT基盤とIR機能の強化充実

日本の知見を世界へ
人間力豊かなグローバルリーダーを育成

課題解決先進国日本から
サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざします。

法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を備えたフロンタランナーを育成する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築する人材の集積とグローバル化社会への発信力の強化

3 サステイナブルなグローバル社会の基礎づくりに向けた中等教育支援

4 サステイナブルなグローバル社会の構築を担う社会人の学びなおし

5 グローバル社会の変化に迅速に対応し意思決定ができる体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神で
なにごとにも絶えず挑戦し、
新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かな
リーダー育成、最先端に行く
高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、
持続可能な地球社会の
構築に貢献する

受入れ留学生



3,000人

海外留学（単位取得）



1,500人

海外協定校



250校

連携高校（国内・海外）



110校

グローバルアクティビティ
体験率



100%

英語による学位取得



7コース

外国人等教員
外国での教員研究歴のある
日本人を含む



60%

外国語による授業



10%

CEFR B1取得
TOEFL ITP® 500点相当



48.1%

社会人の
学びなおしプログラム



1,200人

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成をめざします。実践的な語学教育、学内外での国際交流、海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

英語力を伸ばす

ERP（英語強化プログラム）などを受講

市ヶ谷、多摩、小金井の全てのキャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP（英語強化プログラム）」と「EVERYDAY! 英会話講座」を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。



英語で学ぶ

グローバル・オープン科目などを履修

全ての授業を英語で行っているGIS（グローバル教養学部）の公開科目、多彩な科目が開講されているグローバル・オープン科目、ESOP（交換留学生受入れプログラム）の科目に参加することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。



事例イメージ

経営学部 経営戦略学科：Aさん
基礎的な英語力はあるので、経営戦略を専門に学ぶとともに、高度な英語力を身に付け、国際機関で働きたい。



英語による授業で 語学力と異文化理解力を 養成

- ESOP（交換留学生受入れプログラム）科目
- 学部教育課程における海外留学

学際知識を修得 海外留学で さらにスキルアップ

- グローバル・オープン科目
- 派遣留学・認定海外留学
- 国際キャリア支援セミナー

国際機関への就職・活躍

海外大学院

専門知識を修得 グローバル社会で 生きる力を習得

- 専門科目（ディスカッション・プレゼンテーション中心）
- 国際インターンシップ

国際的な経験を積む

国際ボランティア・インターンシップに参加

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を活かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友人との出会いも魅力です。



Gラウンジを活用

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ（Global Lounge）」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学制度を活用する

派遣留学などに参加

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際的な舞台で活躍する

国際キャリア支援セミナーに参加

国際的な舞台で活躍する方を招き、将来、国際的な企業や機関で働きたいと考えている学生を対象に、さまざまなセミナーを実施しています。国際的な舞台で必要とされるスキルや経験を学ぶことが、将来のキャリアへの大きなステップとなります。



Voice

派遣留学、青年海外協力隊、大学院留学等を経て、現在国際機関で働いています。留学はもちろん大きな経験でしたが、その基礎ができたのはGIS公開授業、ESOPや英文学科のゼミ等、法政大学での授業だと考えています。これらの授業で英語力が向上したのはもちろんですが、学術や文化、社会に関する幅広い知識・議論の仕方を英語で直接学べたことで、後の留学・仕事に繋がる土台ができました。例えばGIS公開授業で学んだ社会科学分野の基礎など幅広い知識は、その後の派遣留学や大学院留学、ひいては現在の仕事にも絶対必要なものでしたし、ESOPの授業を通して学んだ日本に関する客観的な知識・視点は、さまざまな国籍の人と関係を築くのに役立っています。



堀井 健士さん

2007年度	UCデイヴィス派遣留学
2008年度	文学部英文学科卒業
2010年～2012年	青年海外協力隊（ベナン）
2012年～2013年	ロンドン大学教育研究所修士課程
2013年～2014年	在ハイチ日本国大使館 草の根・人間の安全保障無償資金協力 外部委員
2015年～2017年	在ベナン日本国大使館 専門調査員
2017年5月～	国連児童基金（UNICEF）ブルキナファソ事務所 教育担当官（JPO）

1年次

2年次

3年次

4年次

※あくまでも一例であり、所属学部や学習到達度により履修内容は変わります。

語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことができます。

ERP (英語強化プログラム)

English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。



1

listening speaking
reading writing
4技能統合型のカリキュラム



2

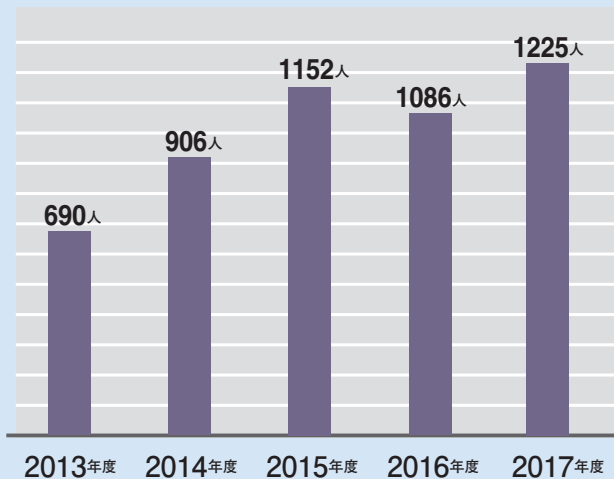
外国人講師
による指導
実践的な英語力の養成



3

少人数授業
1クラス10名程度の
双方向授業

● のべ受講者数



さらに詳しい情報は▶

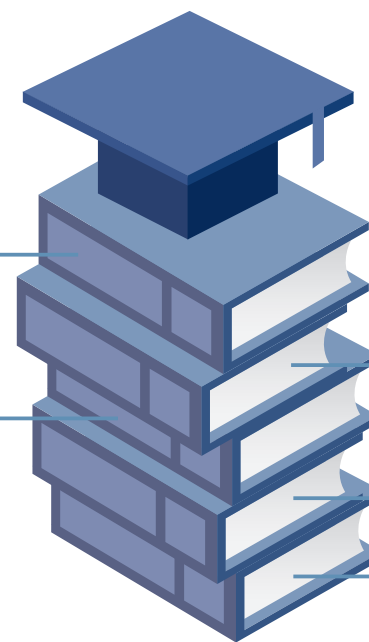


<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。グローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。

ERPなどによりTOEFL iBT® 76以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるGIS (グローバル教養学部) の公開科目を履修できます。



Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。3キャンパスにあり、開室中はいつでも利用できます。



EVERYDAY! 英会話講座

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。少人数グループのレッスンで、英語に慣れていない人でも安心してチャレンジできます。

英字新聞制作企画

英文ジャーナリズムの基礎を学びながら、法政大学の英字新聞を学生の視点で作成し、グローバルな視点や批判的思考を身に付けます。参加者の署名入りで発行された新聞は、THE HOSEI HERALDとして広く配布されます。



ESOP科目

本学協定校より派遣される世界各国の交換留学生と共に日本の文化や社会、政治、経済などのテーマを英語のゼミ形式で学びます。

▶ 詳しくは10ページ

TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC® IPを年1回3キャンパスで一斉に実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。

GIS (グローバル教養学部) 語学検定試験受験料補助

GIS (グローバル教養学部) では英語の検定試験受験料を補助し、語学力の向上を支援しています。

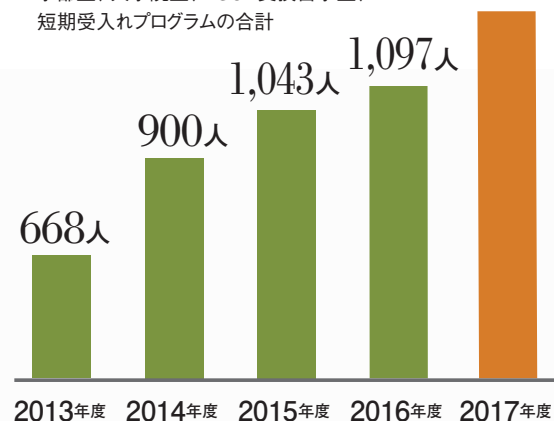
外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目標とし、
キャンパスのさらなるグローバル化をめざします。



● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、
短期受入れプログラムの合計



出身国・地域 2017年度



外国人留学生（正規留学生受入れ）

大学・大学院合わせて774人の留学生が学位取得をめざして、日本人学生とともに勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えています。

留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金、留学生も入居できる学生寮を用意し、受入れ体制を整えています。また、日本での就職を考える留学生が昨今非常に多く、就職活動に役立つ日本語講座や企業説明会を積極的に実施し、就職支援を行っています。今後も多様な入試制度の導入、英語による学位コースの新設等により、さらなる留学生の受入れをめざしています。



ESOP（交換留学生受入れプログラム）

海外の協定校から、半年から1年間の交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいながら留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。2016年度は152名、2017年度は184名の留学生が本プログラムに参加しました。さらに、本学学生も多く受講し、交換留学生の積極的な授業態度に刺激を受けながら交流を深めることができました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することもでき、また、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。



日本語教育プログラム（JLP）

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てることを目的としています。学生の日本語力に合わせたレベル別授業を展開し、特に上級クラスの学生には、進学・キャリアに役立つ「ブリッジングコース」を充実させています。



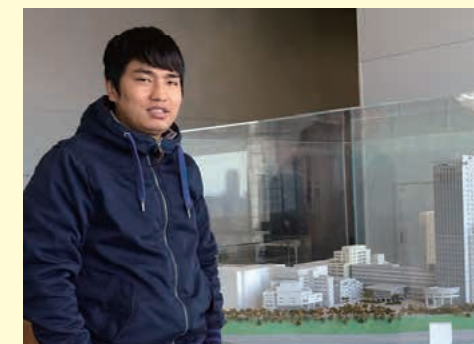
短期日本語・文化プログラム

海外協定大学の学生を対象に、夏と冬に約2週間の日本語と日本文化を学ぶプログラムを実施しています。日本語だけではなく、日本文化・社会などを学ぶため、浴衣を着ての日本橋散策、国内外で店舗を展開する飲食店グループでの調理体験、富士山麓へのフィールドトリップ等を行います。このプログラムには、約100名の法政大学の学生がボランティアとして参加し、留学生とパティを組み、授業や課外活動のサポートや、空港への出迎えや生活面のサポートなどを行います。授業やさまざまなイベントを通じて交流を図るだけでなく、お互いの文化を比較する中で自国の文化を見つめなおし、異文化を理解する力を養います。



Voice

私が法政大学に入学した理由は3つあります。1つ目は長い歴史があり、知名度が高い法政大学では全国やさまざまな国からの学生が集まっており、多様な考えを持つ仲間と出会えると思ったからです。2つ目は、法政大学の理念である自由と進歩が自分に合致したことです。大学に入って自由にさまざまなチャレンジをしたかった私にとっては、法政大学が相応しいと思いました。3つ目は法政大学に通う友達から大学の色々な情報を手に入れることができ、日本語学校の先生からも強く勧められたからです。大学では3年生のうちに卒業単位を取得することに挑戦し、新聞配達のパイトをしながらも日々の努力で実現でき、成績優秀者に給付される法政大学HIF外国人留学生奨学金をもらうこともできました。卒業後はグローバルな企業に就職するので、さまざまな国で活躍したいと思っています。残りの学生生活は仲間を大事にし、自分に足りない能力を勉強し、社会人になるための準備をしっかりしたいと思っています。



タマン プラカーシュさん
外国人留学生（ネパール）
経営学部 経営学科 4年生

国際交流プログラム

さまざまな国際交流の機会を提供し、国際理解を深めています。



法政グローバルデイ

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台で活躍する実務者を招いてのさまざまな取り組みの紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力、国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。



2017年度実施内容
 テーマ：一歩踏み出す「きっかけの1日」
 ・社会人パネリストによるパネルディスカッション
 ・国際ボランティア・インターンシップの学生体験談・プログラム紹介
 ・グローバル・ポイント制度表彰
 ・企画・ワークショップ・相談ブース
 ・交流会

Language Buddy

留学生と日本人学生がペアとなり、授業の空き時間を利用して日本語と外国語をお互いに教えます。また、語学学習の機会としてだけではなく、留学生の学生生活のサポートや、留学生との交流をすることで、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることも目的としています。



Welcome Guide

来日して間もない留学生のために、日本人学生は空港、寮の迎え、大学案内、口座開設などさまざまなボランティア活動を通じて彼らをサポートします。この活動を通じて、日本人学生は留学生の視点で日本を見直せるようになり、よりグローバルな視点を持てるようになります。また、留学生からも信頼を得るようになり、今後の友好な関係構築に役立っています。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。各国の留学生による歌やダンス、母国の文化についての発表などさまざまな企画を実施しています。

2017年度実施内容

留学経験者による留学先紹介、留学中の学生とSkypeでの質疑応答、各留学生会によるダンス、歌のパフォーマンス等

JST (科学技術振興機構) 採択事業さくらサイエンスプラン (日本・アジア青少年交流事業)

産学官の連携により、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的としています。小金井キャンパスでは、ベトナムから教員と学生を招き、理工系分野においてワークショップとプレゼンテーションを行いました。市ヶ谷キャンパスでは、台湾・ミャンマー・ベトナムから建築を学ぶ学生を招き、講義と実地学習を行いました。

HOSEI-SSP (HOSEI Short-term Scholarship Program for High School Students)

日本へ留学を強く希望しているアジアの高校生を本学へ招き、特別授業の受講や本学の学生との密接な交流を通じて本学の魅力を伝えます。2017年度は、ベトナム、インドネシア、カンボジアの3か国から15名の高校生を招き、英語学位プログラムの特別授業や本学学生企画の文化体験活動を通じ、日本について学びました。

スピーチコンテスト

日本語スピーチコンテスト (国際交流サークル Hi-C Orange主催)

国際交流サークルHi-C Orangeの主催によるスピーチコンテストでは、本学在籍の留学生が、日本人学生のサポートを受けながら、自由なテーマでスピーチをします。今回は、韓国・中国・台湾・ウズベキスタン・アメリカの留学生が出場しました。



法政大学日本語スピーチコンテスト (主催：法政大学 共催：VNU ハノイ外国語大学)

ハノイ市 (ベトナム) において日本語スピーチコンテストを開催し、ベトナム全国の6高校・17大学からの応募者104名の中から、事前審査を通過した17名が、「日本語を学んで得たもの」をテーマにスピーチを行いました。



スーパーグローバル大学 創成支援事業シンポジウム

2017年3月に、ベトナムのカントー大学、曙ブレーキ工業 (株) のご協力を得て、サステイナブル社会を担う人材像と人材育成について意見交換を行いました。2017年12月には、ロンドン大学パークベック・カレッジから教員を招き、イギリスにおける大学界の経験をもとに、大学の持続可能な成長について講演とパネルディスカッションを行いました。

派遣・認定海外留学制度

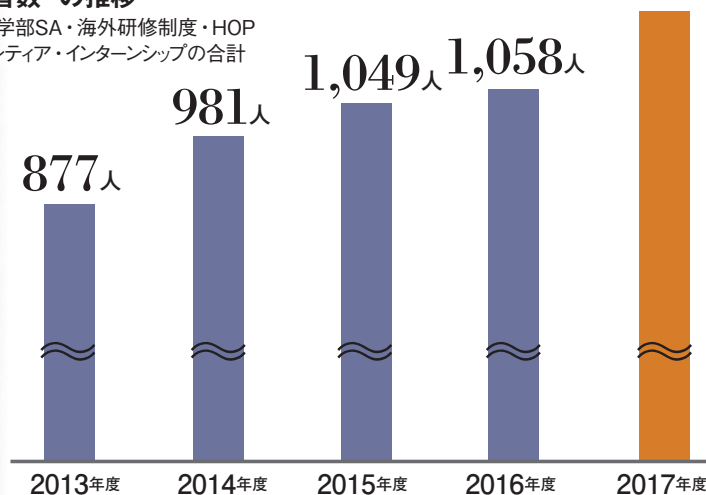


学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。毎年、多くの学生が短期から約1年間の留学を通じて、グローバル人材として求められる豊かな経験を積んでいます。

1,238人

●海外留学者数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP
・海外ボランティア・インターンシップの合計



認定海外留学制度 ～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2～4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(法政大学授業料半額相当)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25～50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マーンケット校(アメリカ)での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。



※「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」は、2019年度より所属学部にかかわらず一律30万円の支給に変更予定。
※上記奨学金は半期留学の場合、半額支給。

【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】



派遣留学制度 ～協定校への交換留学～

全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30～60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

●派遣留学奨学金(半期留学の場合は半額支給)

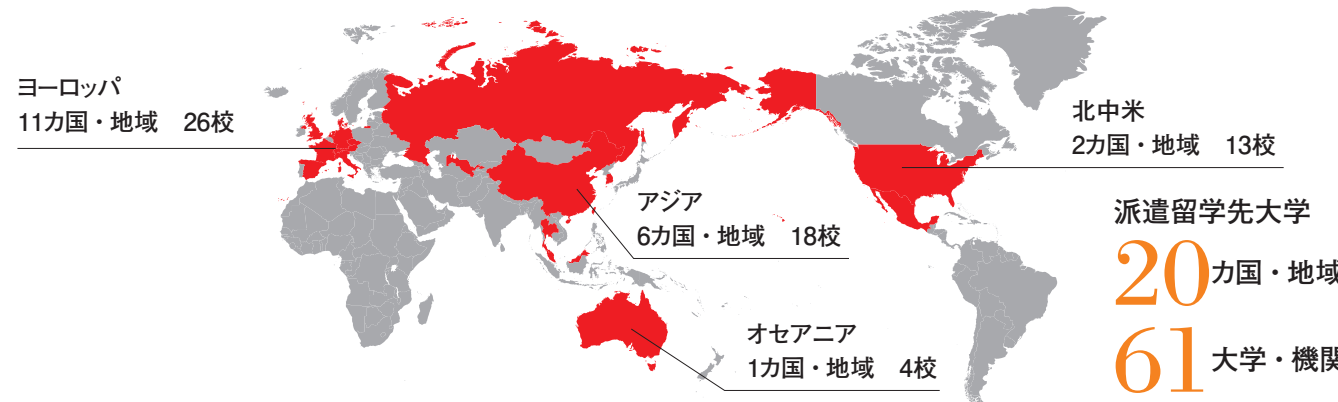
アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100万円

中国、台湾、タイ、マレーシア、ウズベキスタン、メキシコの協定校に留学する場合

70万円

ヨーロッパ
11カ国・地域 26校



派遣留学先大学

20カ国・地域

61大学・機関

※2018年2月末現在

Voice

大学2年次にアメリカで日本の魅力をプレゼンテーションする機会があり、そこでの経験から、将来は日本の文化や製品を海外へ発信できる仕事に携わりたいと考えようになりました。夢を実現するため、海外の大学で専門的な知識や語学、多文化理解を学び深めることが必要だと感じ、派遣留学に応募しました。留学先のヴェネツィア大学では、Intercultural Communication、EU、移民について学び、課外活動では、日本語クラスのTA(教育補助)を経験しました。イタリアの生活は楽しいことも沢山ありましたが、一筋縄ではいかないことも多く、話し合いを重ねるうちに交渉力を身につけることができました。卒業後は、日本の自動車メーカーに就職します。留学での経験を活かし、将来は海外の企業との取引や交渉に挑戦しながら国際ビジネスの第一線で活躍する人になりたいです。



水谷 早良さん(写真左から3番目)

2016年度ヴェネツィア大学(イタリア)派遣留学生
法学部 政治学科 4年生

Voice

私は形而上学を深く学びたいと思い派遣留学ではシドニー大学を選びました。授業では学生たちが「なぜ」や本質を問い続けたいという意欲が強く、その姿に刺激を受けました。それにより、留学中は私も自分の本質についても問うてみるようになり、次第にその探求の面白さの虜になりました。そして派遣留学修了後、そのような自分の内面性について研究が古くから行われているフランス・イタリア両国でもっと幅広く学んでみたいと思い、それが一度にできるエラスムス・ムンドゥス留学(欧州の大学院への留学プログラム)を見つけ、応募しました。現在私が学んでいる修士課程では問題を解くというよりは発見する力が求められ、その土台となったのはこのシドニー留学が大きかったと思います。



樋口 翔一さん(写真右から2番目)

2015年度シドニー大学(オーストラリア)派遣留学生
所属:上アルザス大学(フランス)ヨーロッパ文学文化専攻
(2016年度文学部哲学科卒業生)

特徴的な海外留学・インターンシッププログラム

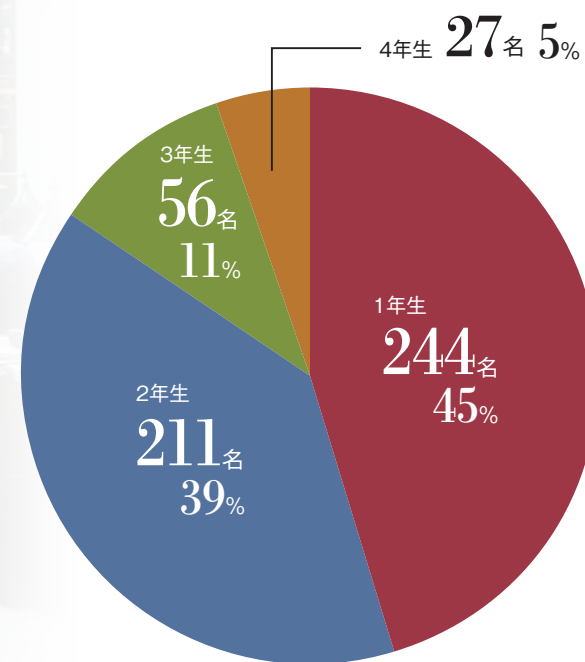
法政大学では派遣留学制度や認定海外留学制度のほかにも、さまざまなプログラムがあります。自分自身の目的やレベルにあった留学制度を利用し、グローバルに活躍できる人材としてのステップアップを図ることができます。



短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ・カナダ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語）、フランス（フランス語）の各協定大学で2～4週間程度実施する留学制度です。全学部の一学年対象で、語学レベルや成績に関係なく応募が可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者までを対象としており、初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

●過去3年間の学年別参加者数
※夏季・春季の合計



トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

文部科学省および支援企業から返済不要の奨学金（月額6～16万円）や留学準備金（15～25万円）などのサポートを受けて、インターンシップやボランティアなどの実践活動を含む自分自身の留学計画を実行するプログラムです。法政大学もこのプログラムに応募・参加する学生のサポートを行っています。



新興国コース（アルゼンチン）



世界トップレベル大学等コース（ルワンダ共和国）



学部独自の留学・海外研修制度

文学部英文学科、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、GIS（グローバル教養学部）、経済学部、社会学部、理工学部、生命科学部において、学部独自のスタディ・アブロード（SA）・プログラムがカリキュラムに組み込まれています。また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。法学部国際政治学科のオックスフォード大学などで短期研修を行うHosei Oxford Programme（HOP）や、文学部哲学科のフランスとドイツの大学で合同ゼミを行う国際哲学特講、国際文化学部では東・東南アジアでの海外フィールドスクールを行っています。このほかにも、人間環境学部では海外での環境問題の見聞を広めることを目的とした海外フィールドスタディ、現代福祉学部では、デンマークなどの福祉先進国で行う海外研修制度、スポーツ健康学の知識を深めるスポーツ健康学部の海外課外研修、デザイン工学部システムデザイン学科のフィリピンで英語を学びながらシステムデザインについて学ぶことのできる海外派遣プログラムがあります。

国際ボランティア・インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。国際社会に貢献する活動をさまざまな国・地域からの参加者とともに「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。夏季（8～9月）および春季（2～3月）に実施し、2017年度は主に東南アジアにて、農村開発、難民支援のボランティア活動、また本学協定校の協力のもと、現地企業での実務研修などを行いました。

2017年度 国際ボランティア／インターンシップ実績

- ・アジア各国・日本各地での国際ワークキャンプ
- ・ミャンマー（ビルマ）難民キャンプでの教育支援活動
- ・ベトナム現地企業での実務研修
- ・フィリピンでの農民支援プロジェクトにおける実務研修
- ・ルーマニアの公共・市民・民間セクターでの実務研修
- ・アメリカの大学での日本語・日本文化教育実務研修



Voice

高校時代から国際協力に興味があり、自分の目でその実態を確かめたいと思い、国際インターンシップへの参加を決意しました。現地ではNGOの実際の活動や苦勞、その背景などについてインタビュー調査を行いました。調査を通じ、国際協力には複雑な問題が多くあり、その背景には価値観や文化の違いがあることを知りました。だからこそ良好な信頼関係を築くことが非常に重要であり、そのためにコミュニケーションを頻繁にとることなどが重要であることを学びました。私は将来、エアラインパイロットをめざしています。異文化理解のできる、信頼関係やコミュニケーションを大事にするパイロットになり、人と人、人とのをつなげる懸け橋として国際協力をしたいと考えています。



森下 裕貴さん

2017年度夏季国際インターンシップ（GLMi フィリピン）研修生
理工学部 機械工学科 航空操縦学専修 2年生

海外交流協定大学

● 派遣留学 ● 短期語学研修 ● SA ※

※学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界39カ国・地域において、235大学・機関（2018年2月末現在）との間で学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。

海外交流
協定大学

235

※2018年2月末現在

39カ国・地域

大学・機関



イギリス

ロンドン大学ロイヤルホロウエイカレッジ
シェフィールド大学 ● ●
ノッティンガム大学
グラスゴー大学
リーズ大学 ● ●
ニューカッスル・アポン・タイン大学 ●
サセックス大学 ●
ブラッドフォード大学 ●
ヨーク大学
ロンドン大学バークベック・カレッジ ●
ウルヴァーハンプトン大学



ドイツ

フンボルト大学
オルデンブルク大学
ロイファナ-リューネブルク大学
ベルリン国際応用科学大学



スイス連邦

スイス連邦工科大学チューリッヒ校
サンクトガレン大学 ● ●
チューリッヒ大学
チューリッヒ大学哲学部東洋学科日本学部門



デンマーク

ロスクリエ大学
オールボー大学 ●



オランダ

NHLステンデン応用科学大学 ●



チェコ

チェコ工科大学 ●



オーストリア

ウィーン大学 ● ●



ハンガリー

コルヴィナス大学 (旧：ブダペスト経済大学)



ルーマニア

バベシュ・ボヤイ大学



モンゴル

モンゴル国立大学



中国

北京大学
北京大学政府管理学院
上海外国語大学 ● ●
中国国際外国専門家局
上海交通大学
北京師範大学 ●
北京外国語大学
北京日本学術研究センター
山東財経大学
大連民族学院
武漢大学
四川外国語大学
中央民族大学 ●

遼寧大学国際関係学院
福州大学
大連外国語大学
首都師範大学 ●
北京科技大学
重慶師範大学
外交学院
清華大学国際コミュニケーションセンター
西南交通大学
龍門石窟研究院
天津外国語大学
北京語言大学 ●
對外經濟貿易大学

福建師範大学
大連大学
東北大学秦皇島分校
山東大学 ●
済南大学
山東協和学院
西南民族大学
華僑大学
少林寺
復旦大学文物博物館学系
西北工業大学
華南理工大学
模範的ソフトウェア学院連盟

西安交通大学
北京交通大学
吉林大学軟件学院
中国科学技術大学
西安電子科技大學
厦門大学
華中科技大学
中南大学軟件学院
東北大学
大連理工大学
東南大学
華東師範大学



韓国

延世大学 ●
延世大学地域発展研究所
延世大学政経大学院
徳成女子大学 ●
聖公会大学社会史研究所
ソウル大学経営学部
嘉泉大学
ソウル大学日本研究所
高麗大学
梨花女子大学 ●

仁荷大学産業経済研究所
アジア気候変動教育センター
ソウル市立大学 ● ●
誠信女子大学
韓国外国語大学 ●
中央大学
建国大学 ● ●
京畿大学
釜山外国語大学
湖西大学



カナダ

プリティッシュ・コロンビア大学
アルバータ大学 ●
トロント大学 ●
ブロック大学 ●
ヨーク大学 ●
トレント大学 ●
プリンスエドワードアイランド大学 ●
ヴィクトリア大学 ●



アメリカ合衆国

トルーマン州立大学 ●
ベイラー大学 ●
カリフォルニア大学ディヴィス校 ● ●
ミシガン州立大学 ●
ボストン大学 ●
カリフォルニア州立大学イーストベイ校 ●
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ●
ネバダ大学リノ校 ● ●
ボイシー州立大学 ●
サンホセ州立大学 ●
フォントボン大学 ●
サンディエゴ州立大学 ●

南カリフォルニア建築大学
イリノイ州立大学
ガステイバス・アドルフ大学 ●
ウェストチェスター大学 ●
ウィスコンシン大学ミルウォーキー校 ●
ミネソタ州立大学マンケート校 ●
メタイル大学
ポートランド州立大学 ●
ウェストフィールド州立大学 ●
ユタ大学
ジョージ・メイソン大学 ●
ニュー・スクール大学



台湾

國立中山大學 ●
淡江大学 ● ●
文藻外語大学
中原大学
國立虎尾科技大學
國立雲林科技大學
國立高雄師範大學
實踐大學

國立台灣師範大學 ●
國立政治大学 ●
元智大学 ●
輔仁大学
國立高雄大學
國立暨南國際大學
中信金融管理學院



メキシコ

アナウアク大学
グアダハラ大学 ●



アルゼンチン

国立ラプラタ大学



ニュージーランド

マッセイ大学 ●
オークランド大学 ●
オタゴ・ポリテクニク



アイルランド

ユニヴァーシティ・カレッジ・ダブリン ●
リムリック大学 ●



フランス

リヨン第三大学 ●
西部カトリック大学 ● ●
パリ・ディドロ (第七) 大学 ●
ヴェルサイユ大学理工学部 ●
エクス・マルセイユ大学
ストラスブール大学 ●
キャンパスフランス ●
サンジェルマン・アン・レー政治学院 ●
ISG



スペイン

バルセロナ大学 ●
ラモン・リュイ財団
ビック大学 ●
コルドバ大学 ●



セルビア

ニシュ大学



ブルキナファソ

ワガ第一ジョセフ・キ・セルボ大学



エチオピア

メケレ大学



アルジェリア

アルジェ大学



コートジボアール

フェリックス・ウフェ・ボアニ大学



イタリア

カルロ・カッターネオ大学 ●
ヴェネツィア大学 ●
ミラノ工科大学
トリノ工科大学



ネパール

トリバン大学



ウズベキスタン

タシケント国立東洋学大学 ●
サマルカンド国立大学



インド

インド科学大学院大学



マレーシア

アジアパシフィックテクノロジー
&イノベーション大学 ●
マラヤ大学 ●
マレーシア工科大学
UCSI大学 ●
マラ工科大学機械工学部



カンボジア

カンボジアメコン大学
ベルティ大学
王立プノンベン大学



インドネシア

サナタダルマ大学
ボゴール農業大学
スラバヤ工科大学
ビナス大学



フィリピン

南フィリピン大学 ●



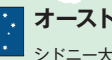
タイ

タマサート大学 ●
チュラロンコン大学 ●
シーナカリンウィロート大学
泰日工業大学
プリンス・ソングラ大学



ラオス

ラオス国立大学



オーストラリア

シドニー大学 ●
グリフィス大学
アデレード大学 ● ●
モナシュ大学 ●
ボンド大学 ● ●
オーストラリア・カトリック大学 ●

グローバル化に対応した仕組みづくり

大学に求められるグローバル化への対応は、ますます多様化しています。
多様な人材を受け入れ、世界のどこでも活躍できる人材を育成する教育環境として、
英語だけで学位を取得できるプログラムを提供しています。
また、国内外の機関と協力できるよう、大学の体制構築と仕組みづくりを推進しています。

英語学位プログラム



GIS (グローバル教養学部)

Faculty of Global and Interdisciplinary Studies

少人数教育環境のもと、新しい時代のリベラル・
アーツ教育を提供する学部です。地球規模で
刻々と変化する社会事象に対応できる、自立的
で人間力豊かな人材の育成を目指します。



GBP (経営学部)

Global Business Program

「アジアの世紀」と言われる21世紀のグローバル
なビジネス社会で活躍し、牽引できる人材を育成
するため、英語で行う授業とともに日本企業のグ
ローバルビジネスを実体験できる科目群を設置し
ています。



SCOPE (人間環境学部)

Sustainability Co-creation Programme

「持続可能な社会」とはどのようなものか、どのよ
うにそこにたどりつくのか、という、あらかじめ定
められた答えのない問いに取り組むために必要
な力を涵養することを目的とします。



IGESS (グローバル経済学・社会科学インスティテュート)

Institute for Global Economics and Social Sciences

経済学の専門知識を応用し、課題解決に取り組
み、サステナブルな社会を構築できるような能
力の涵養を目指します。多摩キャンパスに開設し、
経済学士を授与するプログラムとなります。



IIST (総合理工学インスティテュート)

Institute of Integrated Science and Technology

大学院理工学研究科と情報科学研究科の連携
により、サステナブルなグローバル社会を支える
総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログ
ラムを設置しています。



Global MBA (経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)

Global MBA Program

実務経験3年以上の方を対象に、英語で日本の
ビジネス慣習、日本企業、日本の経営スタイルを
学び、平日夜間と土曜の通学1.5年で修了できる
MBAプログラムを提供しています。

グローバル化に対応した入試制度

語学力や留学経験等が活かせる入試の実施

- 英語外部試験利用入試（一般入試）
TOEFL®などの英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした入試制度。15学部中9学部で実施。
- 英語外部試験利用自己推薦特別入試
経済学部で実施している、英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした自己推薦特別入試。

● 外国人留学生入試

外国人留学生を対象に、書類選考と面接試験を実施する入試、
渡日前でも受験できる書類選考のみによる入試、日本語学校・海外
高校を対象とした指定校推薦入試を実施。

● グローバル体験公募推薦入試

海外高校への留学経験者を対象にした学校長推薦による入試
制度。

● 国際バカロレア利用自己推薦入試

国際バカロレア資格取得者を対象とした入試制度。

グローバル・ポイント制度

プログラム参加経験の数値化

留学や語学研修など大学が指定するプログラムへの参加について
ポイントを付与します。一定のポイントを獲得した学生には、本学ス
パーグローバル大学創成支援事業のロールモデルとして表彰します。

2018年度からの新しい授業時間割と学年暦

多彩な授業・留学等を可能にする教学改革

教学改革の一環として、単位制度に沿った授業時間数の確保と
グローバル化に対応した柔軟な授業設計ができるように、2018年
度から1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を
可能とする新学年暦を導入します。

教職員の国際通用性の向上

教員の授業運用力・職員の語学力強化

授業を英語で行う教員向けに、ネイティブスピーカーによるサポート
の実施、職員向けには、国際業務に対応できるよう英語講座や海
外研修を実施しています。

LinkedInによる情報発信と卒業生との連携

SNSによるグローバルなネットワーク展開

LinkedInは、世界最大級のビジネス特化型SNSです。法政大学
では、カレッジページを開設して、大学の情報発信をしているととも
に、国内外の卒業生および在学生とのネットワークを展開しています。

授業科目のナンバリング

授業レベル表示の国際通用性の向上

授業科目に適切な番号を付し分類することで、配当年次や学習段
階などを考慮して履修科目を選択できるよう、体系的な教育プログ
ラムの明示をしています。また、ナンバリングには、海外大学との授
業レベルが比較可能となるメリットがあります。

海外事務所の開設

学生交流・学術交流の促進

留学生受入れの増加、学術交流の促進、卒業生との連携強化
等の効果を図ることを目的とし、中国、台湾、ベトナムに海外
事務所を展開しています。



グローバル化の歩み

History

of Globalizing Hosei

法政大学は、これまで130年を超える歴史において、自由の尊重、進取の気象という伝統を育み、「自由と進歩」という校風を形成してきました。その精神を受け継ぎながら、学生交流や学術交流に積極的に取り組み、グローバル化を推進してきました。法政大学は、これからも新たな改革に挑み、地球社会のさまざまな課題解決に寄与する大学を実現していきます。

1880年代
ボアソナード博士の法学学校
政府の法律顧問としてフランスより来日したボアソナード博士は1883年、のちの法政大学となる東京法学学校の教頭に就任。以後10年間、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに重要な役割を果たしました。

1931年
「青年日本号」の訪欧飛行
1931年5月29日、東京飛行場（現・羽田空港）からイタリア・ローマをめざして飛び立った複葉プロペラ機「青年日本号」。

1975年
法政大学ロンドン分室を設置
イギリスにおける本学の教育研究拠点を整備。2007年9月には法政大学ヨーロッパ研究センターとして改組。

1979年
奨学金留学制度の開始
法政大学創立100周年を記念して、財界、学生保護者、校友、教職員などによる寄付金の一部から「法政大学国際交流基金」を創設。本学の学生を海外へ送り出す奨学金留学制度（現・派遣留学制度）が発足しました。これは当時、他大学に類を見ない本学独自の制度で、海外の大学・研究機関との協定締結、本学学生の海外派遣、海外大学からの交換留学生受入れなどに早くから取り組んでいました。

1999年
国際文化学部設置とスタディ・アブロード・プログラムの開始
市ヶ谷キャンパスに国際文化学部を開設。国際社会人の育成をめざし、学部生全員が2年次に世界の7言語圏に広がる協定大学のいずれかに留学する必修留学制度スタディ・アブロード（SA）・プログラムを導入。

2007年
法政大学ヨーロッパ研究センター（チューリッヒ）の開所
チューリッヒにヨーロッパにおける海外研究拠点を拡充。

2000～

1880～ 1900～

1903年
梅謙次郎博士の初代総理就任
専門学校令により学校名が法政大学となり、梅謙次郎博士が初代総理（現在の総長）に就任。博士は、中国人留学生を対象とした「法政速成科」や英・独・仏の語学教育のための「語学科」を開設するなど、世界的視野で多角的な教育改革を推進しました。この「開かれた教育」の精神は、今日の本学に受け継がれています。

1904年
清国留学生法政速成科
清国留学生法政速成科を開設。法政大学および法政速成科には、辛亥革命の指導者や中華民国の中心的存在となった人々が、留学生として多く在学していました。

1977年
国際交流センターの新設
国際交流に関する調査や資料の収集、交換、受入れ外国人研究者への協力、外国人留学生に対する学習上・生活上の援助などの業務を全面的に担当する専門部局として、国際交流センターを設置しました。

1997年
交換留学生受入れプログラムの開設
これまで交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるため、英語を教育言語としたESOP（交換留学生受入れプログラム）を開設。ここでは日本語習得以外の全ての授業が英語で行われ、日本文学、社会、政治、経済などのテーマを中心に、米国や英国のようにゼミ形式中心の授業を行っています。英語による授業は、交換留学生だけではなく本学学生も受講でき、日本人学生が海外に留学する準備の役割も果たしています。

2000年
法政大学アメリカ研究所の開所
カリフォルニア州にアメリカにおける海外研究拠点を整備。

2008年
グローバル教養学部設置と全科目英語化の実施
市ヶ谷キャンパスにGIS（グローバル教養学部）を開設。学問領域の枠組みにとらわれず、高い英語運用能力を身に付けた人材の育成をめざし、原則として全ての授業を英語で行うカリキュラムを実施。

2012年
グローバル人材開発センターの設置
グローバル人材育成推進事業を推進するための組織として、グローバル人材開発センターを設置。

2014年
グローバル戦略本部とグローバル教育センターの設置
総長を本部長とするグローバル戦略本部を設置し、それまでの国際交流センターとグローバル人材開発センターを改組したグローバル教育センターを開設。日本社会のグローバル化を牽引し、サステイナブル社会の実現をめざすため、全学で取り組める運営体制を組織しました。

2015年
法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所
英語学位プログラム Global MBAの設置

2016年
法政大学ダイバーシティ宣言の制定
大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

2017年
日本語教育プログラムの開始
主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

2018年
グローバル化に対応した新しい授業時間割と学年暦の導入
1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

英語学位プログラム IGESSの設置

2012年
グローバル人材開発センターの設置
グローバル人材育成推進事業を推進するための組織として、グローバル人材開発センターを設置。

2014年
グローバル戦略本部とグローバル教育センターの設置
総長を本部長とするグローバル戦略本部を設置し、それまでの国際交流センターとグローバル人材開発センターを改組したグローバル教育センターを開設。日本社会のグローバル化を牽引し、サステイナブル社会の実現をめざすため、全学で取り組める運営体制を組織しました。

2015年
法政大学ベトナム・ホーチミン事務所の開所
英語学位プログラム Global MBAの設置

2016年
法政大学ダイバーシティ宣言の制定
大学の直面する課題がより複雑化する中で、大学は多様性と柔軟性を有し、創造的で革新的な場となる必要があります。法政大学がこれまで以上に積極的に環境整備を進め、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障できるよう、ダイバーシティ推進を宣言しました。

2017年
日本語教育プログラムの開始
主に交換留学生を対象としていた日本語科目を発展させ、留学生を対象にした新たな日本語教育のプログラムと体制を整備。

2018年
グローバル化に対応した新しい授業時間割と学年暦の導入
1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

英語学位プログラム IGESSの設置



ボアソナード博士



梅謙次郎博士



ESOP（交換留学生受入れプログラム）



国際文化学部 スタディ・アブロード（SA）・プログラム



GIS（グローバル教養学部）



2017年度秋期入学式